

**第 1 条(総則)**

「JAL PassAge コーポレートプラン 会員規約」(以下「本規約」という)は、株式会社 JAL サンライト(以下「JAL サンライト」という)が、日本航空株式会社(以下「日本航空」という)から受託して行う JAL PassAge コーポレートプラン(以下「PassAge」という)に関する PassAge 会員(以下「会員」という)と日本航空および JAL サンライトとの権利・義務関係を定めることを目的としています。

**第 2 条(本規約の適用およびその改定ならびに承認)**

1. 本規約は、会員番号を付与して行う PassAge について、会員と日本航空および JAL サンライトに係わる一切の関係に適用します。
2. 前項の規定にかかわらず、日本航空または JAL サンライトは、必要に応じて、特定の会員との間に特約を定めることがあります。
3. 日本航空および JAL サンライトは必要と認めたときに、本規約を改定することができるものとします。本規約が改定された場合には、日本航空および JAL サンライトは相当の期間において、本規約を変更する旨および新会員規約ならびに改定の効力発生日およびその内容を会員宛に通知し、または日本航空および JAL サンライトが適当と認める方法で告知します。当該通知または告知の後に、会員が PassAge を利用したときは、会員は新会員規約を承諾したものとします。

**第 3 条(会員)**

1. 会員とは、本規約を承諾のうえ、日本航空および JAL サンライトに PassAge の入会を申し込み、JAL サンライトが所定の審査のうえ入会を承認した法人または団体をいいます。
2. 会員は、PassAge の利用に関して生じる会員に対する日本航空の債権が、その発生と同時に日本航空から JAL サンライトに譲渡されることを承諾するものとします。
3. 会員は、第 1 項における申し込みにあたり管理責任者および連絡責任者を指名するものとします。

**第 4 条(会員番号の発行と無効)**

1. JAL サンライトは、会員に対し所定の方法により会員番号と有効期限を通知します。
2. JAL サンライトは、PassAge の有効期限までに退会の申し出のない会員で、JAL サンライトが審査のうえ引き続き会員と認めた場合、有効期限を更新し通知します。
3. JAL サンライトは、会員に一旦通知した会員番号を無効とすることおよび新たな会員番号を発行することができるものとし、会員はあらかじめこれを承諾するものとします。その場合 JAL サンライトは会員に対し、その旨を書面その他の方法により通知します。

**第 5 条(PassAge の利用)**

1. 会員は、あらかじめ申込書により JAL サンライトに届け出て、かつ、JAL サンライトが承認した旅行会社、または PassAge の利用可能な航空会社(以下「利用店」という)でのみ精算することができます。なお、JAL サンライトは旅行会社の承認をいつでも取り消すことができるものとします。会員は所定の方法により、利用店に対し、会員番号を通知するものとします。
2. 会員は、航空券および JAL サンライトが別途定める渡航関連費用(発券手数料、査証代等)の支払いを行うことができます。
3. 会員が利用店から購入した航空券または前項に定める渡航関連費用の支払いに関する紛議は、会員と利用店との間で解決するものとします。紛議の解決の有無は、代金の支払拒否の理由とはなりません。
4. 会員は、利用店以外の第三者に対して会員番号を通知してはいけません。
5. 日本航空または JAL サンライトは、信用状況等の変化その他の諸般の事情を鑑みて、会員の PassAge の利用を中断することがあります。
6. 会員は、本規約の定めに従って善良なる管理者の注意をもって PassAge を利用するものとします。

**第 6 条(会員番号および旅行会社の変更・追加)**

会員が会員番号および旅行会社を追加、変更または一部取り消しをする場合は、会員の代表者または管理責任者が所定の届出書により JAL サンライトに届け出るものとします。

**第 7 条(支払責任)**

1. 会員は、PassAge に関して生じる一切の債務を JAL サンライトに対して履行します。
2. 会員またはその利用者により PassAge の不正利用等に起因して JAL サンライトが損害を被った場合には、会員はその損害を賠償しなければなりません。

**第 8 条(利用限度額)**

会員の PassAge の利用限度額は、JAL サンライトが別に定めるところによります。この利用限度額は、JAL サンライトの都合により変更できるものとします。

**第 9 条(代金の支払)**

1. JAL サンライトは、PassAge 利用代金等会員に対する債権を原則として毎月末日に締切り、原則として翌月第 7 営業日に会員宛に請求書を発行するものとします。
2. 会員は、前項の請求額について、次のいずれかの方法により JAL サンライトに支払うものとします。
  - (イ) 請求書受領月の末日(銀行休業日の場合は前営業日)までに JAL サンライトの指定する銀行口座へ振り込み(振り込みに必要な手数料は会員の負担)
  - (ロ) 請求書受領月の 27 日(休日の場合は翌営業日)にあらかじめ届け出た預金口座からの自動引き落とし
3. 会員は、前項(ロ)に係わる口座振替の業務を JAL サンライトの指定した代行会社に行わせることを承諾します。

**第 10 条(退会)**

1. 会員が PassAge を退会する場合は、会員の代表者または管理責任者が所定の届出書により JAL サンライトに届け出るものと、会員は、退会の届出と同時に JAL サンライトに対する債務の全額を支払わなければなりません。ただし、JAL サンライトが認める場合には、前条に定める支払方法によることができるものとします。
2. 会員が前項の手続きをすべて完了した時点で退会の効力が生じるものとします。

**第 11 条(会員資格の再審査)**

日本航空または JAL サンライトは会員の適格性について入会後、定期・不定期の再審査を行うことがあります。この場合、会員は日本航空または JAL サンライトの求める資料の提出に応じなければなりません。

**第 12 条(有効期間内の会員資格取消)**

1. 会員が次の各号のいずれかに該当する場合には、日本航空および JAL サンライトは会員に対し、何らかの通知および催告をすることなく会員資格を取り消すことができます。
  - (イ) 会員が入会時に虚偽の申告をした場合
  - (ロ) 本規約のいずれかに違反した場合
  - (ハ) JAL サンライトに対する債務の履行を一つでも怠った場合
  - (ニ) 会員の信用状況に重大な変化が生じた場合
  - (ホ) PassAge 利用状況または利用額等が適当でないと JAL サンライトが判断した場合や会員番号の管理が適切でないと認めた場合
2. 前項各号のいずれかに該当する事由が生じた場合、日本航空および JAL サンライトは会員に対し、何らかの通知および催告をすることなく、利用店に当該会員の会員資格の取り消しを連絡し法的措置をとることがあります。また、JAL サンライトが取り立てに要した費用(実際に支出した弁護士費用含む)は、会員が一切負担しなければなりません。
3. 第 1 項各号のいずれかに該当する事由が生じた場合、会員は第 9 条の規定にかかわらず、期限の利益を失い、残債務額を完済しなければなりません。ただし、会員は、会員資格取り消し時までに発券された航空券類のうち未使用分がある場合は、ただちにそれらを JAL サンライトまたは利用店に返還するものとします。

**第 13 条(反社会的勢力の排除)**

会員と日本航空および JAL サンライトは、当事者のいずれかが次のいずれかの項に違反していると合理的に判断した場合は、他の当事者に対して何らかの通知、催告を要せず、また自己の債務の履行提供をせずにただちに、契約の全部または一部を解除することができます。またこれにより損害が生じた場合は、原因当事者が賠償するものとします。

1. 会員と日本航空および JAL サンライトは、現在または将来にわたって、次の各号の反社会的勢力のいずれにも該当しないこと。
  - (イ) 暴力団
  - (ロ) 暴力団員
  - (ハ) 暴力団準構成員
  - (ニ) 暴力団関係企業
  - (ホ) 総会屋等、社会運動標ぼうゴロ
  - (ヘ) その他前各号に準ずるもの
2. 会員と日本航空および JAL サンライトは、現在または将来にわたって、前号の反社会的勢力または反社会的勢力と密接な交友関係にある者(以下「反社会的勢力等」という)と次の各号のいずれかに該当する関係を有しないこと。
  - (イ) 反社会的勢力等によって、その経営を支配される関係
  - (ロ) 反社会的勢力等が、その経営に実質的に関与している関係
  - (ハ) 反社会的勢力等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関係
  - (ニ) その他の反社会的勢力等との社会的に避難されるべき関係
3. 会員と日本航空および JAL サンライトは、自らまたは第三者を利用して次の各号のいずれの行為も行わないこと。
  - (イ) 暴力的な要求行為
  - (ロ) 法的な責任を超えた不当な要求行為
  - (ハ) 取引に関して脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
  - (ニ) 風説を流布し、偽計または威力を用いて相手方の信用を毀損し、業務を妨害する行為
  - (ホ) その他前各号に準ずる行為

**第 14 条(届け出事項の変更)**

1. 会員の代表者または管理責任者は、申込書にて JAL サンライトに届け出た事項について変更があった場合は、遅滞なく所定の方法により JAL サンライトに届け出るものとします。
2. 会員は、前項の届け出がないため、JAL サンライトからの通知または送付書類、支払金その他が延着し、または到着しなかった場合といえども、通常到着すべきときに会員に到着したものとみなされても異議ないものとします。

**第 15 条(遅延損害金)**

会員は、JAL サンライトに対する債務を約定期日に支払わない場合には、その翌日より完済に至るまで、年 14.6%の割合による損害金を付加して支払うものとします。

**第 16 条(信用情報機関の利用)**

会員は、日本航空または JAL サンライトが加盟する信用情報機関および当該信用情報機関と提携する信用情報機関に会員の信用情報が登録されている場合には、日本航空または JAL サンライトがこれを利用することに同意するものとします。

**第 17 条(会員情報および個人情報の利用目的)**

1. 日本航空および JAL サンライトは会員より取得した会員情報および個人情報については、PassAge サービスの提供、およびそれに関連する業務、会員からのお問い合わせ等への対応に利用します。
2. 日本航空および JAL サンライトは利用目的の達成に必要な範囲で、個人情報の取り扱いを自社以外の第三者に委託することがあります。この場合には、十分な経験・能力を有する者を選定するとともに、契約にあたって守秘義務に関する事項等を規定し、情報が適正に管理されることを担保し、適切に管理・監督を行います。

**第 18 条(守秘義務)**

会員と日本航空および JAL サンライトは、本規約有効期間中および PassAge の利用終了後も、本規約の履行に伴い知り得た情報を他の当事者の事前の書面による承諾なく第三者に開示し、または公表しないものとします。

**第 19 条(本規約に明記のない事項)**

本規約に定めのない事項については、会員と日本航空および JAL サンライトは別途誠意をもって協議するものとします。

**第 20 条(合意管轄裁判所)**

本規約およびそれに関連する諸規定に関する訴訟については、東京地方裁判所を合意管轄裁判所とします。

**第 21 条(準拠法)**

本規約およびそれに関連する諸規定に関する準拠法は、日本法とします。

**第 22 条(関係法令、規則の遵守義務)**

会員は、国内外の関係法令および規則を遵守し、これらに従うものとします。